

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C	令和8年(2026年)1月6日
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
実施機関	南信州地域振興局					
事業名	ウッドチェンジ普及促進事業			担当課	所属	林務課(林産係)
					電話	8-237-2435
					E-mail	<a href="mailto:minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp">minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp</a>
事業概要等	目的 (目指す姿)	管内の成熟した森林資源を地域で循環活用しゼロカーボンの取組を進めるために、主伐再造林を推進して素材生産量を増加し、域内での木材利用を促進する。				
	現状と課題	森林資源の域内利用を促進するために、建築物等への木材利用の推進と、木材利用の理解を進めることにより生活の中へ木材を取り入れるウッドチェンジの地域への普及に取り組んでいるところ。R6年度には「暮らしの中の木製品市」を開催し、参加者から直接木製品に触れることで「木材への理解が進んだ。」「生活に木製品を取り入れてみたい」といった声を得て、県民の木材利用への興味関心を高めることができた。しかし、生活の中で木製品導入の実践に至るには更に取組を進め地域内の住民への理解を深める必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	<p>ウッドチェンジの取組実践を目的に、地域住民へ『木』への理解を促す展示、体験型イベントを開催する。(開催日R7.11.15~16日)</p> <p>また、イベント開催告知については、管内の複数の広告媒体を活用した地域全体への発信しながら、イベントの様子を局のブログやインスタ、県公式Youtubeでも発信し、地域住民への普及啓発を図る。</p> <p>開催日 令和7年11月15日(土)、16日(日) 開催場所 道の駅「南信州とよおかマルシェ(屋根付き広場)」 内容 ・管内の木工作家、販売者による出展販売 ・木工体験(キットによる製作と木っ端による自由製作) ・地域材つみきプール ・地域材による木造建築施工物件例紹介 等</p> <p>※R6からの改善点 ・体験重視の展示内容へ(薪割機の展示・デモ→薪割体験へ 等) ・開催日の拡充(開催日1日→開催日2日へ) ・展示内容の拡充(木製品、薪ストーブの展示→木製品、地域材を用いた建築物へ拡充)</p>				
	事業期間	令和7年9月 ~ 令和7年12月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	ウッドチェンジ普及促進事業	木製品の展示や木工体験等『木』をテーマにしたマルシェの開催	1,099,270	報償費:384,000(講師謝礼等) 需用費:290,970(木工キット等) 役務費:253,500(広告宣伝費) 委託料:80,000(チェーンソー・アートデモ) 使用料:90,800(薪割体験借料等)		
	合計	1,099,270				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	来場者数		1,000人	4,000	達成	
	来場者アンケートで木製品を使いたいと回答する人の割合		50%	92%		
事業実績・成果	11月15日(土)、16日(日)の日程で開催したところ、2日間で約4,000人が来訪し、各ブースでの木製品の購入や木工体験、薪割体験などを通じ暮らしの中にある身近な木製品や木に触れてもらう機会づくりを果たすことができた。 来訪者アンケートでは、「生活の中に木製品を使ってみたい」との回答が92%に上り、目標とした生活の中に木材を取り入れるウッドチェンジへの普及を図ることができた。また、「子供達も気軽に木工体験をできて良かった」「夢中になった」「小さい子供も楽しめた」といった回答も多くあり、幅広い世代で好評を得た。					
今後の方向性	ウッドチェンジの実践を地域に落とし込む為に、継続した取組を進める必要がある。木製品の販売については、これまでの開催から、木工作家、工房同士のつながり、ノウハウができたので、今後は主体的に販売の機会を創り出す為の支援をすすめる。地域住民が木に触れ合う場づくりとしては、ゼロカーボンの推進といった視点からも別イベント(環境メッセ)での木工体験の場づくりを検討していく。					